

Pacific



(A)



(B)

ハロー

桑山昌子隊員 バヌアツ 看護師 札幌市

①バヌアツ人

②職場が病院の手術室という場所から様々な事があります。重症だった患者さんが数度の手術を行い良くなっていたり、患者さんの家族が感謝してくれて自宅に招待してくれたりと、患者さんが元気になって町を歩いているのを見かけたりするととても嬉しいです。また、現地人スタッフに看護技術の指導をしたりして、それをスタッフが実際に必要と感じて実践しているのを見たりするとそれもまたとても嬉しいです。

(A)



(C)



(D)

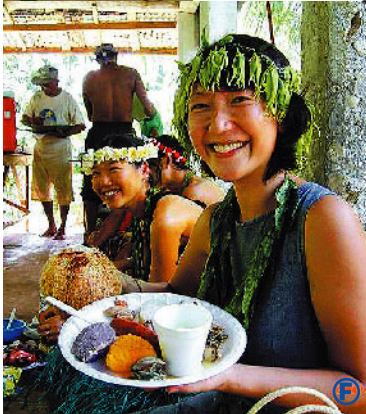
ブラ

阿部飛鳥隊員 フィジー 小学校教諭 札幌市

①あふれる笑顔

②フィジーの子ども達の運動能力の高さにはいつも本当に驚かされます。以前体育の授業で幅跳びをするため、砂場を掘り起こしていた時、子どもたちは踏み切り板から3m離れた所から掘り始めました。「もっと手前を掘り起こさないと危ないよ!」と言うと「僕たち遠くに跳べるもの!」という答えが返ってきました。半信半疑で幅跳びを始めるとなんと4mは跳んでしまうのです。「まさか小学生がこんなに跳べるなんて!」と、本当に驚きました。みんな体を動かすことが大好きで、生き生きと活動します。この国では2学期になると男の子はラグビー、女の子はネットボールの練習を始めます。しかし、選ばれた子たちだけなのです。全員が参加して運動を楽しみ、仲間と協力する喜びを見つけて欲しいと願います。そこに体育を普及させる意義があるのだと思うからです。

(C)(D)



(E)

ブラ

木本(市村)美幸隊員 フィジー 家政 札幌市

①素朴な人たち

②活動を始めて2ヶ月が過ぎ、2学期の後半にこれまで生徒が作った作品を展示・販売する学校開放があった。何週間も前から、生徒も先生も一生懸命その準備に励んだ。1週間前になると連日残業で、寮生たちは夜中まで縫い物に追われた。前日は、通学生も学校に泊り込んでホールを飾りつけ、豚をまるごと解体してフィジーの伝統料理であるロポ(地面に穴を掘って肉や野菜を蒸し焼きにする料理)の準備をした。当日、生徒の親兄弟や他の学校の先生などたくさんのお客さんを迎え、これまでの成果を見せることができ、作品の売れ行きも順調で、フィジアン料理のご馳走とケーキやクッキーなどのお菓子も好評で、みんな楽しく過ごすことができた。

(B)

ブラ

松田ひとみ隊員 フィジー 司書 中標津町

①常に音楽が身近にあること

②6月に、ある村へ、本と組み立て式書棚を届けに行きました。約3時間もかかる急勾配の山をいくつか越えて、ようやく辿り着くことが出来るとも辺鄙な場所、到底人が住んでいるとは思えないような、山の中にありました。しかし、その村の小中学校は、図書室がなく、せっかく届けた本もすでに物庫庫行きに。校長先生の話では、図書室を作りたいと考えてはいるものの、すぐに実現するのは難しいようでした。とりえず、食堂の一角を区切って、図書室を作り、本を並べるとのことでした。

この村への道は舗装されていなく、もちろん一車線。本を届けることすらもたやすくはないと感じた日でした。

モゲスイン

井上郁子隊員 ミクロネシア 統計(データベース) 南幌町

①のんびりしているところ

②2004年のスーパー台風で被災して島が壊滅状態になった時、当時は本来の活動どころではなくなってしまい、もう自分ができていることはなんでもやっただという記憶があります。危機の体験を共有した人とは親くなる確立が高いとよく言われますが、この時も被災後に人々と助け合って過ごしたことで以前よりも深い関係が築けたのですから、結局は自分にとってはラッキーな体験だったのだとこの天災には感謝しています。

(E)(F)

Europe



(A)



(B)

ブナ ズィウア

山下佳子隊員 ルーマニア 幼稚園教諭 岩見沢市

①愛情あふれる国

②子供達と浴衣を着て、日本のダンスをしたこと。日本から子供用浴衣を持ってきていた私はある日幼稚園に持って行って子供達に浴衣を披露しました。勿論、子供達は浴衣の試着もしてみました。ルーマニアの可愛い子供達に日本の情緒ある浴衣は意外にも似合っていました。というよりもとっても可愛かった。同僚が、「子供達も浴衣を作って、一緒に日本のダンスをしたいわ」。その一言から、子供達の親の協力もあり、浴衣に似た生地を探し、子供の親は浴衣を作ってくれました。何とも素晴らしい浴衣の数々。感動しました。そして、毎年恒例のクリスマス発表会にて浴衣を着た子供達と北海道の「子供盆踊り」と幼児用お遊戯を披露して、大成功を遂げました。

ヨー ナボト キヴァーノク

安達いづみ隊員 ハンガリー 日本語教師 札幌市

①人が親切で、古いものを大切にしているところ

②配属先に赴任して1ヶ月が経った頃、カウンターパートが風邪で倒れ、3週間も学校を休むことになりました。その間、2ヶ月目の私が一人で授業をやることになりました。大変でしたが、そのお陰で仕事にも慣れ、生徒とも仲良くなりました。特に12年生とは、たった4ヶ月の付き合いでしたが、卒業式の日には生徒の一人と今までの4ヶ月の話をしていたら、彼女が突然泣き出し、こっちももらい泣きしてしまいました。

道産子ボランティアの活動レポートは
<http://www.jica.go.jp/branch/hics/jigyovolunteer>
 でもご覧いただけます。